春の行事より～大切な命を守る～

大幼

令和７年度
園長だより
No２
R7 年5月１３日

春は行事が目白押しです。日々の子どもたちのわくわくを大切にしながらも、年度初めの時期だからこそのものが多くあります。その一つが「命を守る」ための各種「訓練」です。小さな子どもたちは大人であれば普通に思う「教室天井近くにあるスピーカーから何かが聞こえてくる」という実態も怖さを感じるもの。「ピンポンパンポーン」の音が聞こえたらお話をしないで耳を澄ますことなども繰り返し体験をする必要があります。また、保護者の皆様にご準備いただいた「個人用非常持ち出し袋」を置いている中学校舎 4 階に出向いてみることも、ダンゴムシのポーズで頭や首を守ることも、時間をかけて行いました。

訓練を行うことで、私たち教職員も課題を見つけることができますので、園で作成をしている「危機管理マニュアル」も丁寧に確認をしていくことができます。

先日、県外の小学校で不審者事案がありました。どんなに対策をしていてもそれをかいくぐって起こることがある故、「一つしかない大切な命」を守るためには「自分で考え判断する」ことも必要になってきます。幼児期は全ての基礎となる時期。基礎基本がしっかり築かれてこそ、未来への一歩が踏み出せます。「今ここ」を今後もしっかりと見つめて育んでいきたいと考えています。

５月１日の朝、４校園子ども集会の帰り。とんとん止まれ確認中

随分前のような気がしますが、GW はゆっくりできたでしょうか。４月の進級後、午前帰りとはいえ新しい環境は疲れも出てくる頃です。５月の爽やかな風、新緑の季節を迎える GW は、そういう意味でも心の安定のために大事な時間。お家での「安心」する時間は、園が始まってからの「挑戦」のエネルギーになります。私はというと、庭の草むしりに励みましたが、黙々と集中する時間は心が無になりなんとも言えない達成感を感じることができました。

本日 13 日は、PTA 懇談会でした。先日も 31 日に開催する「親子 PTA」の話し合いに参加させていただきました。

世の中は「子どもまんなか社会」と言われるように社会全体で子どもの健やかな成長を後押ししようと動き出していますが、まずは子どもの周りにいる全ての大人が思いやりあふれるつながりを持つことが大切だなあと、これも昭和育ちの私は常々感じているところですので、改めて保護者の皆様のご協力には感謝申し上げます。